

学習英和辞典と英文法

Lexicography and English Grammar

長谷川 ミサ子*

Misako Hasegawa

本稿は、内容的には、長谷川(1990)および長谷川(1991)の続編をなすものであり、全体で、我が国の学習英和辞典の実質的な改良・進歩に対し、最近の言語学・英語学の進歩がいかなる貢献をなすかということを中心課題とした3部作をなすことになるものである。今回、ここに収録した材料は、ほとんどすべて、Renaat Declerck, *A Comprehensive Descriptive Grammar of English* (1991, 開拓社) [以下引用例においてはDと略記]に含まれているものである。が、急いで付け加えておくべき点が二つある。

一つは、テキストに関してである。すなわち、本稿の記述が準拠しているのは、上記の刊行物そのものではなく、その底本となっている Preliminary Version のほうであるということである。この草稿版と上記刊行本との間にはかなりの異同がある。特に用例に関しては、差し変えられているものが少なくない。が、英語の語法に関する Declerck 自身の考え方には、ほとんど差はないと思われる。が、筆者は本稿執筆の時期の関係上、草稿版を用いることを余儀なくされた。当然のことながら二つの版の間には、ページの移動も少なくないと思われる。従って、本稿に記したページ数は、単に目安となるものであるにすぎない。

もう一つは、引用例とそれに対するコメントに関してである。Declerck 自身のものをそのまま移し換えているというよりは、筆者の主観的プリズムを通過しているものであるという点である。それは、日本の英和辞典の水準を考慮に入れた当然の結果でもある。我が国ですでによく知られていると考えられることを長々と引用する必要はないし、逆にあまり知られていない点は、少し丁寧に説明を加える必要があるからである。

a

A Mr. Brown is at the door. (ブラウンという人が見えています。)

▶ 「... という名の」の意。この不定冠詞は、社会的地位の低い人など、軽べつ的な意味のこめられていることが多い。] D245

The two men were of a size. (その二人の男の人は同じサイズだった。)

▶ このaの用法は、まれになりつつある。]

D245

able

▶ 限定用法の場合は規則変化、叙述用法の場合は more, most を用いる : He is the ablest man you can find for this job.

「彼はこの仕事に、望みうる最適の人です」
/No one is better able to do this. 「彼
ほどこれをうまくできる人はいない」。 D61
As a result of bulk buying, we are now
able to cut prices significantly. (大量仕
入れによって、かなりの値下げが可能になっ
ている。)

[▶すでに実現されているという強い含意が
ある。この be able to は単なる可能性を示
す can で置き換えることはできない。]

D309

admire

They admire her deeply. (彼らは彼女を
心から崇拜している。)

[▶admire は強意の副詞として deeply を
とる。]

D170

advice

▶ 形容詞が付いても a はとらない: * a
good advice.

D255

afraid

I don't like to speak German because I'm
afraid of making mistakes. (私はドイツ
語を話すのがいやだ。間違いをする心配が
あるから。)

[▶動名詞を従えるとき、afraid は「気がか
り」を示す。]

D406

I'm afraid to go into the streets at
night. (私は夜通りに出るのがこわい。)

[▶不定詞を従えるとき、afraid は「恐怖」
を示す。]

D406

aircraft

Two aircraft have crashed this month.
(今月になって飛行機が2機も墜落した。)

[▶単数形の主語に複数形の動詞が呼応して
いる点に注意。]

D178

all

All seems lost now, isn't it? (もう万事
だめなようだ。)

[▶付加疑問文で it が all を受けているこ
とに注意。]

D197

All children want presents on their birth-

day. (子供ってみんな誕生日にはプレゼン
トを欲しがるとんだ。)

[▶総括的用法。all the children の場合は、
「特定のグループの成員すべて」の意となる:
All the children wanted to go with us.
「その子供たちは、全員私たちと一緒に行き
たがった」。]

D220

alone

You can't live on bread alone. (人はパン
のみにて生きるものではない。)

[▶alone は被修飾語の後にのみ置かれる。]

D169

already

Are you finished already? That's quick.
(もうお済みなの、お早いこと。)

[▶already を含む疑問文は実質的には感嘆
文であることがある。]

D266

also

John also phoned Stephen. (ジョンもス
ティーブンに電話した。)

[▶* Also John phoned Stephen. の形は
用いられない。cf. only. ただし、also が
接続詞として moreover の意で用いられる
場合には、文頭に生ずることができる。]

D169

arguably

Arguably, the death penalty does not
deter criminals. (死刑があると罪人が思い
とどまるかという必ずしもそうではない
と考えられる。)

[▶文副詞。「論証可能なこととして言うの
だが」の意。]

D171

arrive

I arrived early. (私は早く着いた。)

[▶* I was arriving. とは言わない。ただ
し、The guests were already arriving.
「客はすでに次々に到着していた」のよう
に反復を表す場合は可能。]

D132

The expected result was arrived at. (期
待していた結果が得られた。)

[▶* The church was arrived at early.

は用いられないことに注意.] D155
as

It's not nearly as hot as it was yesterday. (今日はきのうほどの暑さではない.)
 [▶ as の前に nearly のような修飾語があるときには * not nearly so hot as ... の形は用いられない.] D259

barber

He's at the barber's. (彼は床屋にいますよ.)
 [▶ くだけた英語では at the barber の形も用いられる.] D192

bath

I've had a bath. (ひとふろ浴びたところですよ.)
 [▶ 「さっぱりしていい気持ちです」の含みがある. I've been having a bath. だと「ほら、だからこんなにぬれてるでしょう」といった含みとなる.] D123

be

Wasn't it a great match! (すばらしい試合でしたねえ.)
 [▶ 否定疑問文はしばしば感嘆文として用いられる. (米)では肯定疑問文も用いられる. Did he look scared when I told him that! 「それを話してやったときの彼のおびえた顔ったら.] D18

be to

▶ 用いられるのは am, are, was, were の形のみで, * will be to / * have been to などの形は用いられない. D294

before

John read the letter before I read it. (ジョンはその手紙を私が読む前に読んだ.)
 [▶ 「私も読んだがジョンのほうが先だった」の意. John read the letter before I had read it. は「ジョンはその手紙を私が読まないうちに読んだ」の意. 「後になって私も読んだのか読まなかったのか」については何も述べていない.] D114

bereave

The bereaved was full of grief for his dead wife. (残された人は亡くなった奥さんのことをたいそう悲しんでいた.)

[▶ 遺族全員を指す場合は複数呼応となる: The bereaved were full of grief for their dead child. 「遺族はその子供の死をひどく悲しんでいた.] D185

bitterly

Bitterly, he tendered his resignation. (みじめな気持ちで彼は辞表を提出した.)
 [▶ 文副詞. bitterly は述部によって示されている行為が行われたときの主語の状態を特徴づける働きをしている.] D164

burst

She burst out laughing. (彼女はどっと笑いだした.)
 [▶ この -ing 形は動名詞ではなく, 主格補語の現在分詞.] D404

Cambridge

Cambridge have won their latest boat race. (この間のボートレースはケンブリッジが勝った.)
 [▶ チームの名前として用いられる場合は, 通例, 複数の呼応をする.] D183

can

I can understand your point of view. (君の立場は分かるよ.)
 [▶ understand が状態動詞であるため, この場合の can を be able to で置き換えることはできない.] D310

care

I don't care what we have for dinner tomorrow as long as I don't have to cook it. (自分で料理しなくてもよいのなら明日の晩ご飯何だってかまわないよ.)
 [▶ ... I won't have ... とはしない.] D106

case

in case

I've brought my golf clubs in case we have time for a game. (ことによるとゴ

ルフができるかと思ってクラブをもってきました。)

[▶ ... will have time ... とはしない。]

D106

catch

I caught the boy smoking a cigarette.
(私はその少年がたばこを吸っている現場をつかまえた。)

[▶ この文はあいまいで、「私はたばこを吸っている少年をとらえた」の意にもなる。]

D358

cattle

He has 15 cattle on his farm. (彼は農場に15頭の牛をもっている。)

[▶ 動詞も複数呼応をする: In autumn the cattle are driven to their stables. 「秋になると牛たちは牛小屋に駆りもどされる。」]

D178

certain

I'm not certain/sure how much it is going to cost. (それはどのくらいお金がかかることになるのか私には見当がつかない。)

[▶ 否定文の場合は, certain も sure も同じ意味になる。]

D270

certainly

He certainly did not clean the car. I did it myself. (彼がその車を洗ったというはずがない。私が自分でそれをしたんだから。)

[▶ certainly は話し手が事実を知っていると思っているときに用い、これに対し, surely は話し手の強い期待・希望を示す: Surely he didn't steal the money. He's not that kind of person. 「まさか彼がその金を盗んだとは思われない。彼はそんな人じゃない。」]

D269

cold

catch (a) cold (かぜをひく)

[▶ 受身不可. cf. I caught the thieves. 「私はそのどろぼうたちを捕らえた」 → The thieves were caught by me. は可。]

D148

come

No conclusion was come to. (結論は何も得られなかった。)

[▶ 自動詞用法. * The house has not been come to. は用いられないことに注意。]

D155

continual

How can I work with these continual interruptions? (こうしょつ中, じゃまが入ったんじゃ仕事にも何もなりゃしない。)

[▶ continual はいつも繰り返し生ずるいらだたしいことについて用いることが多い。]

D270

continually

Tom is continually teased by the older boys. (トムはしょつ中, 年かさの子供たちにいじめられている。)

[▶ 「繰り返し」の意。]

D270

continuous

The brain needs a continuous supply of blood. (脳は絶え間のない血液の供給を必要とする。)

[▶ continuous は continual と異なり, 「中断することなく続く」ことに用いる。]

D270

continuously

The band will play continuously from 8 o'clock till midnight. (そのバンドは8時から真夜中まで切れめなく演奏を続ける。)

[▶ この場合, continually を用いることはできない。]

D270

could

When I lived at home, I could watch TV whenever I wanted to. (家にいたころは, いつでもテレビを見ることができた。)

[▶ 「いつでも」の意が含まれている場合は, 過去における能力を示すのに could を用いることができるが, 1回限りのことに could を用いることはできない: * I could watch TV yesterday evening.]

D290

You could at least have met me at the station, couldn't you? (せめて駅まで迎えに来てくれたってよかったのにさ。)

[▶ 過去における非実現を示し、軽い非難の意を含む。] D297

Could you reach him? (彼と連絡とれましたか。)

[▶ 疑問文のときは、could で過去に起こったことを尋ねることができる。] D308

It was dark and misty, but I could see there was a man standing in the garage. (暗くて霧がかかっていたが、ガレージの中に男が立っているのが見えた。)

[▶ see が状態動詞であるため could は過去時における能力を示すことができる。]

D308

courage

He displayed an almost supernatural courage. (彼はほとんど人間業とは思われない勇気を発揮した。)

[▶ courage は形容詞が付くと a をとる。]

D255

crew

At least ten crew were drowned. (少なくとも乗組員10人がおぼれた。)

[▶ 数詞を伴いうる点に注意。単数形集合名詞で数詞を伴いうるのは crew と staff のみである。] D183

dare

How dare you? Take your hands off me at once. (なんてことするんですか。すぐその手を離してください。)

[▶ How dare you? は怒りを示す決まった言い方。] D327

Mummy, can I make a drawing on the wall? — You dare! / Don't you dare! (ママ、壁に絵かいてもいい? — とんでもありません。)

[▶ You dare! / Don't you dare! は相手がしようとしていることを思いとどませるために用いる決まり文句。] D328

day

We're having problems with our daughter these days. (このところ、娘のことで手を焼いています。)

[▶ these days は現在形とともに用いられ、現在完了とは共起しない。] D81

department store

▶ なお、Harrod's のような形は再解釈を受け、Harrods' あるいは Harrods と記されることも多い。 D192

Woolworth's are one of the biggest stores in London. (ウールワースはロンドン最大手の店の一つだ。)

[▶ Woolworth's の形は、通例、複数呼応となる。] D183

depend

We're depending on you to help us. (君の助力を当てにしているよ。)

[▶ count on の意のとき、進行形が可能。]

D129

describe

Describe to me how the accident happened. (その事故のてんまつを私に話してください。)

[▶ * Describe me bow the accident happened. とは言わない。] D25

dislike

She dislikes peeling onions. (彼女は玉ねぎをむくのがきらいだ。)

[▶ She doesn't like to peel onions. はよいが、* She dislikes to peel onions は用いられない。] D401

disperse

The crowd has been dispersed. (群衆はちりぢりになった。)

[▶ disperse は複数概念の語とのみ用いられるが、この場合、呼応としては単数呼応のみが用いられる。] D183

disturbing

That proposal is disturbing to our plans. (その提案は我々の計画のじゃまになる。)

[▶ この disturbing は形容詞. That proposal is disturbing our plans. は進行形で、「その提案が我々の計画のじゃまをしている」の意となる.] D352

do

Jim is done (with the job). (ジムは(仕事を) 終えている.)

[▶ 自動詞用法. is done は受身ではなく完了を示す. has done (the job) と同義.] D78

doubt

Will she come? — I doubt it. (彼女くるかしら — こないんじゃないの.)

[▶ doubt の目的語が先行文である場合、代用形として、so でなく it を用いる. cf. I think so./I hope so./I believe so.] D197

down

The government easily downed the opposition. (政府は野党を簡単に押しきった.)

[▶ この場合の downed は動詞. Everybody has ups and downs. 「だれだって浮き沈みはある」のような場合は名詞.] D11

dress

You're wearing a beautiful dress. (きれいなドレスをお召しですこと.)

[▶ こういう場合は可算名詞であるが、Do you have to wear evening dress? 「イヴニングドレスを着なければならないのですか」のような場合は不可算名詞.] D255

drink

John drank six glasses of whisky. (ジョンはウィスキーを6杯飲んだ.)

[▶ John was drinking six glasses of whisky. は同時に6個のグラスに口をつけている場合、あるいは、はじめから6杯飲むと決められていた場合にのみ可能.] D135

each

There were several people in the room. I shook hands with each. (その部屋には数

人の人がいた. 私はそのだれとも握手した.)

[▶ 代名詞. 単独で用いられる each は、その成員が既知である場合に限られる. * I went into the room and shook hands with each. は非文法的.] D222

each other

They are always quarrelling with each other. (彼らは互いにけんかばかりしている.)

[▶ 3人以上なら ... quarrelling with one another を用いる. なお、前置詞が between, among のときは再帰形を用いる: they are always quarrelling between themselves.] D207

economics

Economics is not an exact science, as mathematics is. (経済学は数学とは異なり、精密科学ではない.)

[▶ The economics of the situation are still to be considered. 「経済状態もさらに考慮されなければならない」のように、修飾要素を伴うと複数扱いとなる.] D180

everybody

Everybody listen carefully now. (さあ、皆さん気をつけて聞きなさい.)

[▶ 命令文における主題として用いられている例.] D13

everyone

▶ everyone と異なり every one のほうは前方照応的に用いられる: I have three pictures. Every one of them is beautiful. 「私は絵を3枚もっている. そのどれもが美しい」また、* everyone of them という形は用いられない. D219

everything

Everything is settled now, isn't it? (万事よろしいですね.)

[▶ 付加疑問文で it が everything を受けていることに注意.] D197

evidence

We need strong evidence for our theory. (我々の理論には強力な証拠が必要だ.)

[▶ 形容詞が付いても * a strong ~ とは言わない.] D255

expect

It wasn't expected that you would leave so soon. (そんなに早くお帰りとは思っていませんでした。)

[▶ you を it のところへ繰り上げると You weren't expected to leave so soon. の形が得られる.] D152

I expect (that) he'll come. (彼はくると思います。)

[▶ I expect him to come. は、これと同義のこともあるが、「私は彼にきてもらいたいと思います」という命令にやや近い意味を表すこともある.] D372

explain

I explained the problem to him. (私は彼にその問題を説明した。)

[▶ * I explained him the problem. とは言わない.] D25

fairly

He is fairly well today. (彼は今日はかなりいい。)

[▶ fairly は好ましいプラスの意味の場合に用い、好ましくないマイナスの意味の場合には rather を用いる: Last time he seemed rather tired. 「この前はかなり疲れているようだった」. cf. Mary is fairly tall for her age. [好感をもっている場合] / Mary is rather tall for her age. [減点対象と考えている場合].] D271

feel

I felt hungry. (私はひもじかった。)

[▶ ほとんど同じ意味で I was feeling hungry. ということもできる.] D127

finish

Jim is finished (with the work). (ジムは(仕事を)終えている。)

[▶ 自動詞用法. is finished は受身ではなく完了を示す. has finished (the work) と同義.] D78

fish

He caught nine fish yesterday. (彼は昨日、魚を9匹とった。)

[▶ The fishes of this lake are usually rather small. 「この湖の魚は小ぶりのものが多い」のようなときは fishes となる.] D178

foot

a hole eight feet deep (8フィートの深さのある穴)

[▶ an eight-foot-deep hole のように前位をとると単数形が用いられる.] D177

forget

I'm already forgetting what you have told me. (もう君の言ったこと、忘れかけている。)

[▶ 状態の変化の始まりに言及するときは進行形が可能.] D129

Bill has been forgetting important things lately. (ビルはこのごろ大事なことをよく忘れるんだよ。)

[▶ 一時的な習性に言及するときは進行形が可能.] D130

Jim is forgetting his manners. (ジムはお行儀をどこかへやっちゃったのかしら。)

[▶ いつもは行儀のよい子が、いつもと違う振る舞いを一時的に示しているようなとき、進行形が用いられる.] D130

frequently

He frequently doesn't speak a word all day. (彼は一日中一言も口をきかないということがよくある。)

[▶ He doesn't frequently speak all day. は It does not often happen that he speaks all day. すなわち、「彼が一日中しゃべっているということはあまりない」の意となる.] D166

fun

We had great fun. (我々はとても楽しいときをすごした。)

[▶ 形容詞が付いても * a great ~ とは言

わない。] D255

gallows

A gallows was erected at Tyburn. (絞首台がタイバーンに建てられた。)

[▶ 単数扱いの gallows はこういう構文となる。] D47

go

The problem has not yet been gone into. (その問題には入らなかった。)

[▶ * The tunnel was gone into by the tourists. は用いられないことに注意。] D155

be going to

I'm studying Spanish because I'm going to Spain next month. (私は来月スペインへ行くのでスペイン語を勉強しているところです。)

[▶ be going to go は、単に be going の形ですませることが多い。] D89

You were going to give me your address. (あなた私に住所くれることになってたでしょ。)

[▶ 過去形の be going to は実現されなかった過去の意図を示す。] D93

go on

Having mentioned the main problem, he went on to talk of other, less important matters. (主要な問題に触れたので、彼は他のより重要でない問題に話を移した。)

[▶ 不定詞は、新しい次の段階の行動に移ってゆくときに用いる。] D403

He went on talking, although I had asked him to stop. (もうやめてくれと頼んだのに彼はしゃべり続けた。)

[▶ 動名詞は「それまでやっていたことをそのまま続ける」場合に用いる。] D403

gone

When I came back, the boat was gone. (私が帰ってきたとき、ボートはもうなかった。)

[▶ have gone は、移動・方向・目的地が含まれている場合に用いられる。]

Where have all the others gone? 「ほかの人たちはどこへ行ってしまったのだ。] D268

hair

He had his hair cut. (彼は髪を刈ってもらった。)

[▶ この文はあいまいで、「彼は髪を刈られた」の意にもなる。] D357

hate

They hate her deeply. (彼らは彼女をひどくにくんでいる。)

[▶ hate は強意の副詞として deeply をとる。] D170

have

▶ has が本動詞として用いられているとき、's と縮約されることは通例ない。 He has a car. 「彼は車を持っている」。 * He's a car. D36

he

Because he was ill, John couldn't come. (病気だったので、ジョンはこられなかった。)

[▶ 従節の中の代名詞は後続する主節の中にその先行詞をもつことができる。] D16

health

The most important thing in life is good health. (人生においていちばん大事なものは健康だ。)

[▶ 形容詞が付いても * a good ~ とは言わない。] D255

hear

I hear you changed your job. (あなた職を変えたそうですね。)

[▶ 現在形が厳密には現在完了形に相当する意味をもっている点に注意。] D69

I'm hearing it better now. (あ、よく聞こえるようになりました。)

[▶ 聞こえ初めの部分については進行形を用いることができる。] D128

help

His stick helps him to walk. (ステッキは彼が歩くとき助けになっている。)

▶この to は省略不可. to の省略は文の主語が不定詞の行為を行う場合にのみ可能: John helped me (to) clear the table. 「ジョンは食卓のあとかたづけを手伝ってくれた.」] D381

himself

He himself does not bet on horses, but his brother does. (彼自身は馬に賭けることをしないが, 弟のほうをやっている.)

▶強意用法. 再帰代名詞が主語を強調する場合, くれた言い方では, 通例, He does not bet on horses himself, but his brother does. のように文末に回され, その位置で文強勢を受ける.] D206

hope

I'm hoping you'll give us some advice. (なにかアドバイスをがいただけたらと思っているんですけど.)

▶I hope you'll give us some advice. だと「なにかアドバイスを下さいますね」というやや押しつけがましい言い方となる.] D130

I had hoped to be able to come here today, and I have managed to do so after all. (今日ここにこられるといいなあと思っていたのですが, 結局はくることができました.)

▶had hoped の示す非現実性は含意であるから, 文脈次第でキャンセルすることが可能.] D279

however

However hard a decision it may be, it's right. (どんなに困難な決定であっても, それは正しい.)

▶「however + 形容詞 + 不可算名詞」のときは非文法的となる: * However good equipment you have, climbing Mount Everest is always very dangerous.] D257-8

human

human being(s)

The English often care more about animals than about human beings. (イギリス人というのは人間よりも動物のほうにより多くの関心をもつことがよくある.)

▶「人間」の意. human being(s) という形は, 動物・物との対比を含む場合に多く用いられる.] D250

hurt

He said his back hurt. (彼は背中が痛いと言った.)

▶He said his back was hurting. の形もあり, 意味はほとんど違わない.] D126

if

If he will go to China next year, then we should publish his book now. (彼が来年中国へ行くというの(が本当)なら, 彼の本は今が出版時だ.)

▶if 節が(未来における)既定のことを示すとき, will が用いられる.] D334

if only

▶if only で始まる文は感嘆文として用いられることがある: If only you would listen to reason! 「なんとかもう少し聞き分けてくれるといいのだが.」 D18

impossible

It is impossible to understand this sentence. (この文を理解するのは不可能だ.)

▶この文は This sentence is impossible to understand. と同義.] D23

interested

I'm interested in working in the U.S.A. Do you know anybody who could help me? (ぼくはアメリカで働いてみたいんだが, だれか助けてくれる人を知らないか.)

▶動名詞を従えるときは, 「... ということをちょっとやってみたい」の意.] D406

I was interested to hear your remark. (君の意見を聞きたいものだ.)

▶不定詞を従えるときは, 「その中身に関心がある」の意.] D406

iron

This type of cloth washes and irons more easily. (この手の布のほうがかって簡単に洗え、アイロンがかかりやすい。)

[▶自動詞用法。] D24

it

It was Bill who left the room. (部屋を出て行ったのはビルでした。)

[▶強調構文。過去の事柄を過去の視点から査定し述べている。It is Bill who left the room. 「部屋を出て行ったのはビルです」は過去の事柄を現在の視点から査定し述べる言い方。] D113

itch

My foot itches. (私は足がかゆい。)

[▶My foot is itching. の形もあり、意味はほとんど変わらない。] D126

just

Bill has just arrived. (ビルは今着いたところだ。)

[▶just now は現在完了とともに用いることはできない：* Bill has arrived just now.] D77

keep

keep on

They kept(on) singing. (彼らは歌い続けた。)

[▶この -ing 形は動名詞ではなく、主格補語の現在分詞。] D404

kill

Husband kills wife with kitchen knife. (夫、妻を包丁で刺殺)

[▶新聞の見出しでは、過去のことに現在形が用いられる。] D69

knock

I knocked him unconscious. (私は彼をなぐって気絶させた。)

[▶この場合、unconscious を * to be unconscious とすることはできない。] D30

lay

The book lay on the table. (その本はテーブルの上にあった。)

[▶この場合、on the table は義務的で省くと非文法的な文となる。] D167

like

I like cycling to work. (私は自転車の通勤が好きだ。)

[▶バスなどよりおもしろいので「気に入っている」の含意がある。これに対し、I like to cycle to work. のほうは、なにか(健康のためとか)理由があって、習慣的に実行しているときなどに用いる。] D400

live

We have lived in London for two years. (我々はロンドンに2年間住んでいる。)

[▶「ロンドンに2年間住んだことがある」という「経験」の意になることもありうるが、特別の文脈がないかぎり、「継続」の意に解されるのが普通。] D81

We lived in Paris at the time. (当時我々はパリに住んでいた。)

[▶この場合、in Paris は義務的で省くことはできない。また、in Paris を文頭へ出して、* In Paris we lived at the time. とすることはできない。ただし、In Paris we met John Smith. はよい。この場合、in Paris は随意的要素。] D167

Liverpool

Will Liverpool be able to win their match? (リバプールは試合に勝てるだろうか。)

[▶チームの名前として用いられる場合は、通例、複数の呼応をする。] D183

marry

They got married last month. (彼らは先月結婚した。)

[▶自動詞のとき、marry よりも get married の形のほうが好まれる。] D150

mathematics

Mathematics is not one of my best subjects. (数学は私の得意な科目ではない。)

[▶His mathematics are weak. 「彼は計算が不得意だ」のように修飾要素を伴い、

実際の運用を意味するときには複数扱いとなる。] D180

may

▶ 「かもしれない」という可能性を意味する場合、「これは本当かしら」の意で * May this really be true? を用いることはしない。疑問文の場合は、Can/ Could this really be true? の形を用いる。 D312

may as well

I may/might as well start at once. (すぐ出かけるとするかなあ。)

[▶ 主語が一人称だと、軽い意向を示す。]

D297

You may/might as well come with us. (あなた、私たちといっしょにきたらどう。)

[▶ 主語が二人称だと、提案を示す。] D297

means

We must find a means to get out of here. (我々はここから脱出する方法を見出さなければならぬ。)

[▶ 単数扱いの means はこういう構文となる。] D47

meet

Bill met George at the airport. (空港でビルはジョージに会った。)

[▶ 「ばったり会った」の意のとき受身不可。 George was met by Bill at the airport. は「約束して会った」の意味となる。]

D148

might

Might I see you for a few minutes, please? (2, 3分ほどお目にかかれますでしょうか。)

[▶ こういう依頼文における might は丁寧すぎたり、ぎょうぎょうしい感じを与えるため一般に避けられる。] D289

You might have given me some notice! (ちょっと知らせてくれてもよかったらうに。)

[▶ 過去における非実現を表し、軽い非難の含意がある。] D297

Monday

I hate Mondays. (私は月曜日がきらいだ。)

[▶ Mondays は普通名詞化された用法。]

D28

more

More than one pupil has failed to solve the problem. (その問題が解けなかった生徒は一人、二人にとどまらない。)

[▶ than の次が複数名詞だと動詞は複数呼応となる: More than fifty pupils have been punished. 「50人を超える生徒が罰せられた。」]

D175

mother

John and Mary bought their mother some flowers. (ジョンとメアリーはお母さんに花を少し買った。)

[▶ 同じ母親の場合、John and Mary bought their mothers some flowers. のように mothers が複数形だと、「めいめいの母に」の意となる。]

D176

must

I must say, I'd never thought of that. (やあ、そのことには全く思い至らなかったなあ。)

[▶ 告知動詞の前の must は義務の意味が薄くなる。認知動詞の前の場合も同様: You must understand that she's rather old. 「彼女もだいぶお年ですからね。」]

D298

You must come and visit us one day. (またいつかいらしてくださいね。)

[▶ 弱強勢の must は勧誘を表すことがある。]

D298

You must have some of that pie. It's delicious. (あのパイ少し召しあがれ、おいしいですよ。)

[▶ 人にものをすすめるときの決まった表現]

D298

He must fight for his life. (彼は命がけで戦わなければならない。)

[▶ 「これからそうする必要がある」の意。

He has (got) to fight for his life. には、「すでに実際そうしている」の含意がある。]

- D299
- I must go to the dentist tomorrow.
(私は明日歯医者に行かなければならない。)
[▶「私は毎週一度歯医者に行かなくてはならない」のように反復を示す場合には、I have to go to the dentist once a week. のように have to を用いる必要がある。]
- D299
- myself**
Everybody had gone except myself. (私以外の人はみんな行ってしまった。)
[▶ 強意用法. except の後では me の形を用いず、myself の形を用いる。] D206
- navy**
The Navy congratulated themselves on their victory. (海軍はその勝利をよろこんでいた。)
[▶ この場合、単数呼応はない。] D183
- need**
I badly need money. (私はひどくお金に困っている。)
[▶ need は強調の副詞として badly を選択する。] D170
Need I come tomorrow? (明日くる必要がありますか。)
[▶ 「こなくてもいいんでしょう」の含意がある。] D301
I told him he needn't come if he didn't want to. (私は彼に来たくなければこなくてもいいと言った。)
[▶ 主節の伝達動詞が、過去形でも従節の need はそのままの形である点に注意。] D303
- news**
▶ 形容詞が付いても a はとらない: * a wonderful ~ . D255
She brought us bad news. (彼女は悪い知らせをもたらしてきた。)
[▶ 形容詞が付いても * a bad ~ とは言わない。] D255
- next**
Bill's sitting next to the door. (ビルはドアのそばにすわっている。)
[▶ Bill's sitting nearest to the door (of all of us). は「ビルは我々のなかで、いちばんドアの近くにすわっている」の意。] D61
I'm going to be very busy next week. (来週はとても忙しくなりそうだ。)
[▶ I'm going to be very busy for the next week. は「これから1週間は」の意となる。] D252
- nobody**
Nobody move! (だれも動くな。)
[▶ 命令文における主題として用いられる例。] D13
- nothing**
Nothing happened, did it? (何も起こらなかったでしょうね。)
[▶ 付加疑問文で it が nothing を受けていることに注意。] D197
- nowadays**
People have other worries nowadays. (今日では、ほかにも悩みの種がある。)
[▶ nowadays は現在形とともに用いられ、現在完了とは共起しない。] D81
- nuisance**
Children can be a nuisance. (子供ってじゃまになることがありますよね。)
[▶ a nuisance は意味的には、形容詞に近い用法。] D174
- often**
The bus often doesn't stop here. (バスがここで(通例はとまるんですが)停車しないことがよくあります。)
[▶ The bus doesn't often stop here. は It is not often that the bus stops here. の意味. つまり、「常にとまるとは限らない」の意となる。] D166
- one**
Do you have any apples? -- Yes, I have three big ones. (りんごもっている?)

— うん、大きいのが3つある。)

[▶ 形容詞がないとき, * I have three ones. ということはできない. 単に I have three. という.] D216

I'd like a big one with cream on. (私はクリームをついた大きいのがいい.)

[▶ 前位修飾要素が欠けている場合は, * a one... の形を避け, one のみを用いる: I'd like one with cream on. 「私はクリームのついたのがいい」.] D216

My car has broken down. Let's use your new one. (ぼくの車, 壊れちゃった. 君の新しいの使おうよ.)

[▶ 形容詞が介在しない場合, 「君の(車)」のつもりで, * your one ということはできない.] D216

One John Smith came to see you. (ジョン・スミスとおっしゃる方が御面会にみえています.)

[▶ one を a certain person named の意で用いるのは古風で文語的な言い方.] D217

only

Only two people knew about it. (二人の人だけがそれについて知っていた.)

[▶ Two people only knew about it. の形も用いられる.] D169

Paul only phoned Ben today. (ポールは今日ベンに電話しただけだ.)

[▶ 文強勢の置かれる場所によって, only は, Paul, phoned, Ben, today のいずれにかかるともできる.] D169

ought

ought to

▶ should と比べると, ought to のほうが客観的な法律・規則に基づいていることが多く, should は話し手の主観的判断に基づいている場合が多いという違いがある. したがって, ought to のほうがやや強意的である. We ought to pay them a visit tomorrow, but I don't think we will. 「明日あの人たちを訪ねるべきだと思うけど,

おそらく行かないことになるでしょう」はよいが, ought to の代わりに should を用いると, 自己矛盾をしていることになり, おかしくなる. D294

▶ 一般に ought to よりも should のほうがより多く用いられる傾向がある. should より ought to のほうが, やや強意的であり, should には強勢がないのに, ought には強勢の置かれることが多い. D321

He ought to do it, but he won't. (彼はそれをすべきだが, (おそらく) しないでしょう.)

[▶ * He must do it, but he won't. とするとおかしくなる. must には後に不履行の文が続くことを拒否する強さがある.] D295

I ought to phone my parents tonight. (私は今晚両親に電話しなくては.)

[▶ 「でも実際電話できるかなあ」という疑念の余地のあることを思わせる言い方. ought to は単に道徳的義務に言及するものであるから, must や have to より意味が弱い.] D295

This is where the treasure ought to be. (ここに宝があるはずだがなあ.)

[▶ やや自信のない表現. This is where the treasure must be. にすると, もっと確信の度合いの高い表現となる.] D320

You ought not to have any difficulties getting the tickets. (切符の入手はそれほどむずかしくはないと思いますよ.)

[▶ cannot 「はずがない」より弱い推量を表す. not は助動詞 ought ではなく to 以下の動詞句を否定している.] D321

own

That property is owned by Smith & Wilson. (その所有地はスミス・ウィルソン会社のものです.)

[▶ 会社が所有者であるとき受身可能.]

D148

paint

They painted the house beige. (彼らはそ

の家をベージュ色に塗った。)

[▶ この場合, beige を * to be beige とすることはできない。] D31

part

He spent part of the summer here. (彼は夏の一部をここで過ごした。)

[▶ 前位修飾語を伴わず, part of ... の形で用いられる場合は無冠詞. cf. a large of the summer 「夏の大部分」.] D256

people

most people (たいていの人々)

[▶ most peoples 「たいていの民族」.] D49

personally

Personally, I don't believe her. (ぼくとしては彼女の言うことなんか信じないね。)

[▶ 文副詞. この場合, personally は文末に置くこともできる: I don't believe her, personally.] D171

pity

I suddenly felt moved by a strange pity. (ふと私は奇妙なあわれみの情におそわれた。)

[▶ pity は形容詞が付くと a をとる。] D255

pleasant

It is pleasant to talk to John (= John is pleasant to talk to). (ジョンは話していて楽しい。)

D376

pleasure

I get great pleasure out of work like this. (こういう仕事をしていると私はとても幸せだ。)

[▶ 形容詞が付いても * a great ~ とは言わない。] D255

poultry

Some of his poultry have been killed by foxes. (彼のにわたりの中にはキツネにやられたのが何羽かあった。)

[▶ Poultry is fairly cheap now. 「けい肉は現在かなり安い」の場合は, 単数呼応のみ。] D178

progress

The negotiators have made good progress. (交渉は大いにはかどった。)

[▶ 形容詞が付いても * a good ~ とは言わない。] D255

promise

You must help me! You promised you would. (手をかしてくれなくちゃ. かしてくるって言ってたじゃないの。)

[▶ この場合, * You promised so. の形は用いられない。] D200

question

He put a question to me. (彼は私に質問をした。)

[▶ * He put me a question. の形はない。] D25

quickly

The boy quickly shut the door when the telephone rang. (少年は電話が鳴ったとき, すばやくドアを閉めた。)

[▶ 目的語を伴わないとき quickly をこの位置に置くことはできない: * He quickly left.] D162

rarity

Scientific books are a rarity in such countries. (科学書って, そういう国では, めったにお目にかかれないものだ。)

[▶ a rarity は意味的には, 形容詞に近い用法。] D174

rather

He speaks English rather well. (彼の英語はかなりうまいですよ。)

[▶ この rather は fairly の意味ではなく, very の意味の控え目表現である。] D271

I'd rather enjoy such an experience. (そういう経験ならぜひやってみたいですね。)

[▶ would rather の次に appreciate, enjoy, like などが続く場合, rather は very much の意となる。] D278

read

She read stories to her children. (彼女は子供たちにお話を読んで聞かせた。)

[▶ She read her children stories. の形はあまり用いられない.] D25

really

I really don't know. (私には全くわかりません.)

[▶ I don't really know. は「私にはどうもはっきりしません」の意.] D171

reply

I had no chance to reply to his question. (私には彼の問題に答える機会がなかった.)

[▶ * I had no chance to reply his question. の形はない.] D25

rightly

Rightly, Bill returned the money. (当然そうすべきではあったのだが, ビルはその金を返した.)

[▶ 文副詞.] D172

salmon

He caught five salmon. (彼はサケを5匹つかまえた.)

[▶ five が付いても salmon の形が用いられる. ただし, The Atlantic and Pacific salmon are closely related. 「大西洋のサケと太平洋のサケは同類である」のように種類を示すときは, salmon の形が用いられる.] D176

scientifically

The expedition was planned scientifically. (その調査旅行は科学的に計画された.)

[▶ Scientifically, the expedition was a success. 「科学的見地からすれば, その調査旅行は成功だった」は文副詞.] D164

seem

He seemed to be a good scientist. (彼は立派な科学者であるように思われた.)

[▶ 過去の事柄を過去の視点から査定し述べている. He seems to have been a good scientist. 「彼は立派な科学者であったように思われる」は, 過去の事柄を現在の視点から査定し述べる言い方.] D113
Susie doesn't seem to like any of you.

(スージーはあなた方のだれも好きでないよ
うね.)

[▶ 形式ばった言い方では, 同じ意味で Susie seems not to like any of you. の形を用いる.] D227

seriously

Seriously, do you intend to resign? (まじめな話し, 君は本当に辞職する気か.)

[▶ 文副詞. 「まじめな話しとして言うのだが, 本気で言うのだが」などの意を表す.]

D171

sheep

This sheep is mine. (この羊は私のものです.)

[▶ this が these になっても sheep はそのままの形で用いられる: These sheep are mine.] D176

should

All pupils should submit their papers before Christmas. (生徒はみんなクリスマスまでに答案を提出しないといけません.)

[▶ 「遅れて提出する生徒が何人かいるかもしれないが」の含意が感ぜられる.] D295

He shouldn't have left his money in the pocket of his overcoat. (彼はお金をオーバーのポケットに入れたままになどしておくべきではなかったのだ.)

[▶ 非難を示す.] D296

I think you should have been more cautious. (君はもっと注意深く振る舞うべきだったのだ.)

[▶ 非実現を示す.] D296

Students who wish to attend the second part of the course should first have completed the first part. (このコースの後半を受講しようとする学生は, まず前半を履修していなければならない.)

[▶ 非実現の含意は伴っていない.] D296

According to the weather forecast it should be raining tomorrow. (天気予報によると明日は雨降りのようです.)

[▶ 未来のことは不確定要素があるので、この場合、現在における確定的推論を示す must を用いるのは不適當.] D320

He should drive home now. (彼は車でもう帰宅すべきだ.)

[▶ 進行形の He should be driving home now. は「彼はもう車で帰宅の途中であるに違いない」の意となる.] D321

She should have passed the examination. (彼女は試験に合格したと思いますよ.)

[▶ 「彼女はその試験に合格しているべきであったのに、合格しなかった」の意にもなる.] D321

It is strange that he should say such a thing. (彼がそんなことを言うとは不思議だ.)

[▶ strange, natural などに続く従節の should. この構文では * It is strange that he say such a thing. のような仮定法現在を用いることはできない.] D330

sick

He's being sick. (彼は今もどしている.)

[▶ この意味のときは進行形が可能.] D129

since

It's a long time since I heard from her. (彼女から便りをもらってからすでに久しい.)

[▶ It's a long time ... の代わりに It's been a long time ... の形も用いられる.] D81

sleep

She slept herself sober. (彼女は眠って酔いをさました.)

[▶ この場合, sober を * to be sober とすることはできない.] D30

slim

▶ 同じようにやせている人について用いても, slim のほうは「ほっそり(すらり)とした」というよい意味をもち, skinny は「がりがりの, 骨と皮ばかりの」というけなした意味をもつ. D8

sneeze

This photograph shows John while he is

sneezing. (この写真はジョンがくしゃみをしているところを写したものです.)

[▶ 瞬時性を示す動詞でも, 写真のように凍結場面を示す場合は進行形が可能.] D132

John sneezed ten times last night. (ジョンは昨晚10回くしゃみをした.)

[▶ John was sneezing ten times a night until he started taking these pills. 「ジョンは一晩に10回もくしゃみをしていたので, とうとうこの薬を飲み始めた」の場合, くしゃみの合計回数は示されていないことに注意.] D135

so

Jim's crazy. — Who says so? — Dr. Jones. (ジムの頭が変だ — だれがそんなこと言ってるんだ — ジョン博士だよ.)

[▶ so は言明に対する証拠, 理由を求めらるのに用いられる. これに対し, Who said that? は Jim's crazy. という表現を用いたのはだれか, と問うことになる.] D201

so beautiful a house (かくも美しき家)

[▶ 文語調の表現. * a so beautiful house とは言わない. また, so を複数名詞とともに用いることはできない: * so beautiful houses.] D236

I've never seen so large a street. (あんな大きな通りはみたことがない.)

[▶ 「so+形容詞+複数名詞」の形は用いられない. * They seem to be so shy boys.] D258

some

It happened some twenty years ago. (それは20年ほど以前に起きた.)

[▶ 「約」の意. 「100 ぐらい」というときは, * some one/a hundred policemen ではなく, some hundred policemen のように言う.] D225

staff

He is in charge of about twenty staff. (彼は約20人の職員をかかえている.)

[▶ 単数形で数詞を伴っている点に注意. those

staff の形も可能である. cf. crew.] D183

stop

The bus was stopping. (バスは停車しかかっていた.)

[▶ バスが停車の状態に入っていたことを意味するが, 停止したことは保証していない表現.] D121

sure

He is sure to win the race. (彼はきっとそのレースに勝つ.)

[▶ I'm sure he'll win the race. と同義.

He is sure of his winning the race./He is sure he will win the race. は「彼自身が勝利を確信している」の意となる.] D405

surely

Surely you're not going out in this rain? (まさかこの雨の中, 出かけるっていうんじゃないだろうね.)

[▶ surely を含む平叙文は, 実質的には疑問文である場合がある.] D269

swim

Tonight the cattle will be swum across the river. (今晚牛たちに川を泳いで渡らせよう.)

[▶ 他動詞用法.] D24

teach

He taught me to read fast. (彼は私に速読術を教えてくれた.)

[▶ 実際に速読ができるようになったことを含意する. これに対し, He taught me rapid reading. は速読ができるようになっているという含意はない.] D400

technically

Technically, it is not a very difficult operation to tap a telephone line. (技術的に言えば, 電話の盗聴というのは, それほどむずかしい操作ではない.)

[▶ 文副詞. この場合, Technically は Technically speaking と等価.] D164

tell

I told you so. (だから言わないことじゃな

いでしょう.)

[▶ 「どういうことになるのか注意したのに言うことかかないからこんなことになってしまって」というときに用いられる.] D201

the

Eggs are sold by the dozen. (たまごはダース売りです.)

[▶ 「... につき」という配分的な意味で the が用いられるのは, 前置詞のあとにおいてのみであり, その他の場合には a/an が用いられえる.] D245

theoretically

Theoretically, it's not impossible. (理論的には, それは不可能ではない.)

[▶ 文副詞. この場合, Theoretically は Theoretically speaking と等価.] D164

there

I'd like there to be a swimming-pool in the garden. (庭に泳げるプールがあってくれればいいんだがなあ.)

[▶ There is a swimming-pool in the garden. 全体を like の目的として埋め込んだ形の構文.] D198

He was disappointed at there being so little to do. (ほとんどすることがないので彼はがっかりした.)

[▶ There was so little to do. 全体が at の目的語になっている構文.] D198

There are six of us in my family. (私の家族は6人です.)

[▶ 家族の成員を1人, 2人と数えてその総数を示すときなどは, 通例, There are ... の形を用いる.] D199

think

I'm thinking now that we might have been wrong. (ひょっとすると我々の考えが間違っていたかな.)

[▶ 一時的にいつもと違う考え方をしているような場合, 進行形が可能.] D130

this

The explanation is this : we don't have

sufficient money. (そのわけはこうだ. 我々には十分な金がないのだ.)

[▶ this は後に続く文全体を受けている.]
D209

throw

Someone threw the door open. (だれかがドアをパッと押しあけた.)

[▶ この場合, open を * to be open とすることはできない.]
D30

too

It's too hot a day to work. (こんなに暑くては仕事にならない.)

[▶ 「too + 形容詞 + 複数名詞」の場合は用いられない: * They are too poor people to travel abroad.]
D258

toothache

I've had toothache four times this month. (今月は 4 回も歯痛がおきた.)

[▶ headache と異なり, toothache は常に不可算.]
D255

translate

The documents translate quite easily into English. (この書類は簡単に英語に訳せる.)

[▶ 自動詞用法.]
D24

trouser

▶ * Trousers are expensive. / * Both trousers are black. の形は用いられない. また, my other trousers, some more trousers, these trousers は 1 着のズボンを指すこともあれば, 2 着以上のズボンを指すこともある.
D179

two-thirds

Two-thirds of the room was full. (その部屋の 3 分の 2 はいっぱいだった.)

[▶ two-thirds of の次に複数名詞がくると動詞は複数呼応となる: Two-thirds of us agree. 「我々の 3 分の 2 は賛成だ.」]
D175

understand

Now we're understanding this a little better. (少しわかってきました.)

[▶ 状態の変化の始まりに言及するときは進行形が可能.]
D129

understandably

Understandably, they were very angry when they heard about it. (無理からぬことだが, 彼らはそれを聞いたとき, ひどく腹をたてた.)

[▶ 文副詞.]
D171

used

used to

Bill used to smoke a pipe. (ビルはパイプたばこを吸っていた.)

[▶ 「今はやめている」の含意があるが, Perhaps he still does. 「おそらく今もそうだろう」を加えると, この含意は消える.]
D326

usually

He usually does not leave early. (彼は早く出発しないのが常だ.)

[▶ He doesn't usually leave early. は It is not usual for him to leave early. すなわち, 「早立ちが常というわけではない」の意となる.]
D166-7

walk

Let's walk the drunken lady home. (その酔っぱらった女の人を家まで送って行きましょう.)

[▶ 他動詞用法.]
D24

weather

We had terrible weather in Spain. (我々はスペインでひどい天候にぶつかった.)

[▶ 形容詞が付いても * a terrible ~ とは言わない.]
D255

what

What John did was study. (ジョンがしたのは勉強でした.)

[▶ 疑似分裂文. 過去の事柄を過去の視点から査定し述べている. What John did is study. 「ジョンがしたのは勉強です」は過去の事柄を現在の視点から査定し述べる言い方.]
D113

What a fool you are! (お前は何てばかだ.)

[▶ What a ... の形は感嘆文だけに用いられる。What fool said that? は「どこのばかがそんなこと言ったのだ」ほどの意。]

D257

What awful weather! (何てひどい天気だ。) / What good advice! (何て立派な助言だろう。)

[▶ 不可算名詞の場合は不定冠詞の入らない形を用いる。]

D257

What nice people they are! (何てすてきな人たちでしょう。) / What pretty clothes she wears! (何てきれいな服を彼女は着ていることだろう。)

[▶ * How nice people they are! / * How pretty clothes she wears! の形は用いられない。]

D258

when

He will let us know when the boat will arrive. (いつ船が着くか知らせてくれるでしょう。)

[▶ 疑問副詞。He will let us know when the boat arrives. 「船が着いたら教えてくれるでしょう」は副詞節を含み、will (arrive) は用いない。]

D106

whisky

whisky-and-soda (ウイスキーソーダ)

[▶ 複数形は whisky-and-sodas。]

D48

whole

▶ 質量名詞とともに用いることはできない：
* The whole (of the) money is lost.

D221

The whole city was burning. (町中が燃えていた。)

[▶ 定冠詞なしでは用いられない：* Whole city was burning。]

D221

will

The paint will be dry in an hour. (ペンキは1時間もすれば乾きますよ。)

[▶ 「少し辛抱して待てば」の含意がある。

The paint is going to be dry in an hour. だと「どうしたって1時間で乾いてしまいますよ。だから急いで(あれ)しなくちゃ」の含意がある。]

D88

If you will put the cups ready, I will make the tea. (あなたがカップを用意してくだされれば、私がティーを作りましょう。)

[▶ if 節の will は好意を、主節の will は約束を示す。]

D283

John won't meet Mary. (ジョンはメアリーに会おうとはしない。)

[▶ この won't は常に主語の意志を示す。したがって、その受身形 Mary won't be met by John. は「メアリーはジョンに会ってやろうとしない」というメアリーの意志を表し、能動形とは意味が異なる。]

D283

Will you kindly type this letter at once? (この手紙すぐタイプしてくれませんか。)

[▶ 依頼を示す。丁寧さを示す kindly や please のような語が添えられていないと、柔らかな命令を示すことになる。]

D283

She will have been about thirty-five then, I think. (そのころ彼女は35才ぐらいだったかと思えますよ。)

[▶ will have been は過去のことに關する現在の推量を示す。]

D323

wonder

I wondered where he was. (彼はどこにいるのだろうかとは私は思った。)

[▶ * I wondered about where he was. は非文法的。]

D17

would

▶ 過去における習性・反復を示す。状態動詞の場合には用いられない：* He would be a pilot before he was married. 代わりに used to を用いる。

D325

I would like to see him. (彼に会いたいものだ。)

[▶ 「会いたい」という願いは「現在」のもの。「会う時期」は現在でも、未来でもよい。これに反し、I would have liked to see

him. 「彼に会えるといいなあと思っていたのだったが」は、過去の一時点で希望していたことを示し、会う時期は、「現在をも含むその後の時期」であるが、非現実性を示す。] D279

I asked them to help me but they wouldn't. (私は彼らに助けを求めたが、彼らは助けてくれようとしなかった。)

[▶ wouldn't は過去時における拒絶を示す。]

D284

I remember you would have tea in the afternoon. (あなたは午後よくお茶を飲んでいましたよねえ。)

[▶ used to と異なり、「今はやめている」の含意はない。] D326

wound

He was badly wounded in the fighting. (彼はその戦いでひどい傷を負った。)

[▶ She was deeply wounded by his words. 「彼女の心は彼のことばでひどく傷ついた」のような場合、副詞は deeply となる。]

D170

write

My son writes me that you have been abroad. (息子からの便りによると、外国へ行ってらしたそうですね。)

[▶ 現在形が厳密には現在完了形に相当する意味をもっている点に注意。] D69

yet

Has the postman come yet? (郵便屋さんまだきていませんか。)

[▶ 単にきたかどうかを問う疑問文。 Has the postman already come? 「郵便屋さんもうきましたか」は「多分もうきたと思うが」という含意がある。] D266

you

Don't you tell him! (あいつに話したりしちゃあだめだぞ。)/ You take your hands off me. (私に触らないで。)

[▶ 命令文に you を用いると、警告・怒りなどを表すことが多い。] D12

yourself

It is such people as yourselves that are ruining this country. (この国を滅ぼしているのは君たちのような人間だ。)

[▶ 強意用法。 as の後では you の形を用いず、yourselves の形を用いる。] D206